

H16当初予算における財政健全化の取組み(一般財源ベース)

(単位:億円)

項目	収支改善額			計	主な取組み
	中期折 込額A	体質改 善分B	緊急避 難分C		
1. 行政の効率化とスリム化	27	17	25	69	
人件費総額の抑制		5			A 給料のカット 知事10%、副知事他特別職7%、一般職5～3% 議長10%、副議長・議員7% 50人の削減 B 諸手当の見直し 退職手当、特殊勤務手当、住居手当など
内部管理経費の節減		5			A 既定方針での節減 マイナス5%シーリング B 更なる節減 内部事務費、施設等維持管理費
県債管理の徹底			25		A 償還期間の延長 銀行等引受債を10年から20年へ C 借換債の発行 H16に最終償還を迎える銀行等引受債
外郭団体の見直し		7			A 既定方針での節減 マイナス5%シーリング B 団体の統合・事業見直し スクラップ10事業 県委託事業・補助事業費の縮減
2. 歳出規模の抑制と質的改善	17	50	12	79	
公共事業費の削減		6			A 既定方針での削減 補助 10%(対H14)、単独 50%(対H14) B 編成方針での削減 補助 10%(対H15)、単独 30%(対H15) 更なる削減 編成方針から更に単独 20%
事務事業・補助金の見直し		44	12		A 既定方針での削減 マイナス5%シーリング B 事業・補助金の廃止・見直し スクラップ77事業 事業・補助金の見直し その他規模縮小など C 分割交付方式への変更 下水道普及促進対策交付金など
3. 歳入の確保	9	0	49	58	
県有財産の有効活用					A 未利用財産の処分
基金の追加活用			13		C 特定目的基金の追加充当 教育文化振興基金、しまね環境基金など
資金手当債の活用			36		C 地域再生事業債の発行 通常充当率で充当した隙間に充当
合計	53	67	86	206	

中期見通し折込み額は、健全化反映前の中期財政見通し(財源不足345億円)段階で既に歳出削減等を前提としていたもの